

パソコンいわくら教室新聞

ようやく始まりそうな「ネット選挙」。今の国会で審議されているようです。
ところでネット選挙で何？

インターネットで投票？

ネットでの選挙とは、インターネットで投票することではなく、ネットを通じて「選挙運動が可能」になる、ということです。

まだまだ、インターネットを通じての投票には、問題があるようで、そこまではもう少しかかるような気がします。

今までも、政党や政治家個人のホームページもありますし、また、ブログなどを通して発言などはされていますが（橋下大阪市長のツイッターは有名です）、選挙公示後はページの更新などが一切禁じられていたもので、選挙活動は従来型のメディアや選挙カーでの活動に限られていました。

それを次回の参議院選挙（今年の夏）から、ネットでの選挙活動を行えるようにしよう、というわけです。



橋下大阪市長のツイッターページ

選挙活動の方法は？

各政党や政治家個人のページでのPR活動、フェイスブックやブログ、ツイッターなどでの発言の発信。メールでの投票呼びかけなど、様々なツールを使った活動が考えられます。



有権者としても、様々な意見などを目にするので、投票の判断材料としてもいい改革といえると思います。

特にフェイスブックやツイッターは、手軽に候補者が発信し、それを有権者が見るのに適しているツールと言えます。

将来的にはもう一歩進み、投票ができるようになれば、投票率の向上に一役買えると思うのですが。それには、まだまだクリアしなければならぬ問題がたくさんあるようです。



「し」を機会に...

参議院選挙を機に、フェイスブックやツイッターなどを始めてみるのも良いのではないのでしょうか。簡単な登録で使いは始めることができます。

フェイスブックは原則実名登録になりますが、ツイッターは匿名でも可能です。

ツイッターは気になる「つぶやき」を「フォロー」していけば良いでしょう。フォローした人がつぶやくたびに自分のページに表示されるようになります。フェイスブックでも気になるページに「いいね」や「フォロー」をしておくとお互いのページに表示されるようになります。

まずは、こんな使い方から始めてみましょう。これなら一人でも楽しめます。慣れてくれば、友人など「友達」になればもっと楽しむことができます。

ブログやWebページの更新状況は、その都度確認するのも大変なので、前月号でも紹介した「Googleリーダー」に登録しておくのがいいでしょう。あたらしい記事が書かれるたびに表示してくれます。



安倍晋三 内閣総理大臣のフェイスブックページ

せっかくのインターネット

せっかく契約したインターネット環境です。年間4〜5万円の費用、決して安くありません。かと言ってやめてしまつのも不便です。なら、とことん使ってあげましょう。

使った時間だけ通話料がかかる電話と異なり、近頃のネット契約は、定額契約が主なのでいくら使おうが追加費用はかかりません。

パソコンにスマートフォンやタブレット、インターネットに接続して初めて本領を発揮します。

新聞も書籍も雑誌もかなりデジタル化が進んできました。音楽も映像もデジタル化されています。多くのテレビ番組もオンデマンドで見れるようになって来ました。

便利な時代に感謝したいものです。

See you next month